

氏名	SANDA WIN
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 2448号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科病理系生体防御医学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Immune Responses against Allogeneic and Syngeneic Tumors in Aged C57BL/6 Mice (老令C57BL/6マウスの同種および同系腫瘍に対する免疫応答)
論文審査委員	教授 谷本 光音 教授 清水 憲二 教授 岩月 啓氏

学位論文内容の要旨

抗腫瘍免疫応答における加齢の影響について検討した。18～22ヶ月令のC57BL/6マウス脾細胞を用いて、同種BALB RL♂1腫瘍および同系EL4腫瘍に対するCTL誘導能を検討したところ、対照として用いた若令マウスに比べ著しく低下していた。同種BALBRL♂1腫瘍に対するCTL誘導能はrIL-2の添加により回復したが、同系EL4腫瘍に対するCTL誘導能は僅かに回復した。このことは、老令マウスでは、CD4⁺T細胞のIL-2産生能が低下しているだけでなく、抗原性の弱い同系腫瘍に対しては、CD8⁺T細胞の機能も低下していることを示唆している。ELISPOT法による腫瘍反応性CD8⁺T細胞の頻度解析の結果、老令マウスの同種RL♂1腫瘍に対する頻度は若令マウスと変わらなかったが、同系EL4腫瘍に対する頻度は減少していた。

老令マウスの同種RL♂1腫瘍拒絶能は、若令マウスの拒絶能と差がなかった。これは、強い組織適合抗原によるものと考えられる。同系EL4腫瘍に対しては、CD8効果細胞の拒絶能の低下が認められた。

論文審査結果の要旨

本研究は、老齢マウスの抗腫瘍免疫応答作用を若年同系マウスの作用と比較した結果では、同種腫瘍に対する腫瘍拒絶能は加齢により大きな変動を受けないが同系腫瘍に対する拒絶反応に関しては加齢により大きく影響を受けることを発見し、その違いについて細胞学的な検討を加えたものである。行われた方法も的確であり、得られた結果は加齢とともにある細胞群の機能が低下することを示唆しており、免疫学的な機能低下が原因となって起こる腫瘍発生に関する重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。